

○少子高齢・人口減少社会を見据えたメリハリある土地利用のあり方

- 1 国際ビジネス交流ゾーンにおいて、高密な道路・交通ネットワークを生かしながら、国際ビジネス・交流機能を強化するための土地利用はどうあるべきか。
- 2 区部中心部における住宅の量的拡大から質の向上への転換を図り、居住環境の質を高めるための方策やその対象範囲はどうあるべきか。
- 3 業務機能の受け皿としての都心、副都心の考え方から脱却し、地域の個性やポテンシャルを最大限に発揮していくため、どのような地域を中核的な拠点等として位置付け、育成していくべきか。
- 4 長期的な人口減少を見据えた、市街化区域の計画的な縮退を図るための方策はどうあるべきか。
- 5 市街地が連担している東京の特性を踏まえた集約型の地域構造への再編に向け、都としてどのような方針を示し、各自治体による立地適正化計画の策定を誘導すべきか。

※グランドデザインの戦略1～7に関する、目指すべき都市像の実現に向けた取組は第2回特別委員会以降に議論

例) みどりを守る、増やす
木密地域の不燃化促進
新たなライフスタイルを支える土地利用の複合化 など